

## C委員会 進路ハンドブック

昨年度、定時制では本校生徒の特性を考え、独自に進路ノート『K A J O ☆進路ハンドブック』を作成し、今年度当初に刊行できるようにした。入学時から進路について考えさせることはもとより、高校生活の自己管理なども含めた内容とした。定時制のロングホームルームでは各学年で年3回、その年次に対応した内容での活用を計画している。また、卒業年次では自分のペースで活用できるようなページも設けた。

定時制は昨年度のPTA運営委員会で諸会費として代金を徴収することを了承いただき、1～3年次全員に配付、4年次は既に市販の『進路ノート』を二冊購入しているためデータで必要箇所を活用していただくこととした。それにならい、通信制もデータを活用できるように整備し年度当初の職員会議で連絡した。その後、定時制では6月に進路ハンドブックの活用について「職員研修会」を行っている。

定時制の今年度の活用について、生徒・教員にアンケートを行った結果を下記に示す。

(1) 平成29年度生徒対象アンケート（12月実施）

### ○『K A J O ☆ハンドブック』について

#### 1. 授業（ロングホームルームや総合的学習の時間を含む）で使った回数は？

a 0回                      b 1～2回                      c 3～5回                      d 5回以上

定時制	a	b	c	d
1・2年次	4	44	65	1
3・4年次	2	19	12	0
計	6	63	77	1

#### 2. 1で「a」以外と回答した人は、使ってみてどうでしたか。

a とても良かった                      b 良かった                      c 良くない                      d とても良くない

定時制	a	b	c	d
1・2年次	9	83	14	0
3・4年次	2	25	4	4
計	11	108	18	4

### 3. 2で a、b と回答した方は具体的にどういう点が良かったと思えましたか。

#### 1・2年次

見やすく書いてある。(10) / これから何をすればよいか具体的に書いてある。(3)  
/ わかりやすい説明と適切な資料/将来の進路について考えられた。(5) / 卒業生の体験談やアドバイスが参考になった。(3) / 進路について詳しく書いてある。(5) / イラストの説明がわかりやすかった。 / 自分のことがわかり、考えるきっかけとなった。(3) / 欠席した日数の確認に役立った。(10) / 授業をしていて楽しかった。 / 霞城学園の進路について解りやすく書かれていた。(5) / 学校の基本的なルールが書いてありよかった。 / 過去の記録が詳しく載っている。(3) / 進路について具体的なことを考えられ不安や悩みが減った。

#### 3・4年次

履歴書の書き方の説明が詳しくてわかりやすかった。(3) / 面接で聞かれることの一覧が載っていてよかった。(4) / 大学進学や就職に役立つ知識が豊富に詰まっており、とても役立った。(2) / 内容が具体的で進路ごとにあった内容だった。(3) / 事前に詳しく調べて自分でわかりやすくまとめることができよかった。(3) / 面接のやり方や自分の内面を知る事の質問事項などわかりやすく書いてあった。(6) / ハンドブックの情報で自分の進路を決めやすかった。(2) / 進路によってどんな動きがあるかわかりやすかった。(5) / 自分がどんな仕事に向いているのか具体的にわかった。(2) / 求人票や履歴書が載っていたところがよかった。(5) / わかりやすく様々な事がまとめて書いてあり色々な事が学べた。(2) / 出席の自己管理ができるのでよかった。(10)

### 4. 2で c、d と回答した方は具体的な改善点を書いてください。

#### 1・2年次

白黒で見にくく解りにくい。 / 冊子が大きい。 / メモできる場所があればよい。 / せっかくなのでもっと授業で使ってほしかった。(3) / 自分にあった進路を見つけにくかった。 / 担任が個人に渡してくれないのでハンドブックの意味がない。

#### 3・4年次

自分向きじゃない、自分向きに作ってほしい。 / あまり使ってないので解らない。(3)

**5. 独自に授業以外で使った回数は？**

a 0回      b 1～2回      c 3～5回      d 5回以上

定時制	a	b	c	d
1・2年次	95	18	0	1
3・4年次	29	2	1	2
計	124	20	1	3

**6. 5で「a」以外と回答した人は、どの内容が役に立ちましたか。**

**1・2年次**

欠席・欠課の表記入でできるところがあり確認できた。(3) / 就職とか進路について考えることができた。(6) / SNSの使い方。 / コミュニケーションスキル。(2) / オープンキャンパスでの質問例など確認できた。(3) / 職について考えられた。

**3・4年次**

欠課や欠席の確認ができたこと。(8) / 面接一覧。(3) / 履歴書の書き方。(3) / 面接時の礼儀。(2)

**7. 『K A J O ☆進路ハンドブック』を使うことで、自らの進路について具体的に考えることができるようになりましたか。**

a 当てはまる      b どちらかという当てはまる  
c どちらかという当てはまらない      d 当てはまらない

定時制	a	b	c	d
1・2年次	4	59	19	16
3・4年次	1	15	13	1
計	5	74	32	17

**8. 進路学習に関しての要望等があれば、自由に書いてください。**

パソコンで自分の進路を調べてレポートにまとめる。 / 専門学校の資料もほしい。 / 会社のこと自分に向いていることを知ることができるようにすること。 / 大学のことも詳しく書いてほしい。

(2) 平成29年度教員対象アンケート(12月実施)

**○『KAJO☆ハンドブック』について**

※授業での活用については、定時制担任が主となるので1～4について、ほとんどが回答していない。(回答者のみとし、0回にはカウントしない) 通信制の回答もなし。

1. 授業(ロングホームルームや総合的な学習の時間等を含む)で使った回数は?

- a 0回      b 1～2回      c 3～5回      d 5回以上

	a	b	c	d
定時制	12	6	9	5

2. 1で「a」以外と回答した人は、使ってみてどうでしたか。

- a とても良かった      b 良かった      c 良くない      d とても良くない

	a	b	c	d
定時制	7	13	0	0

3. 2でa, bと回答した方は、具体的にどういう点が良かったと思えましたか。

**【1年次担任】**

親切に丁寧に説明されていたのでよかった。ただ、文章を理解することが難しい生徒もいる。/1年次は入学したばかりでなかなか進路を考えることができない生徒が多いと思うが、日々の授業の大切さ、本校の進路状況を早くから知り、進路を考えるきっかけになったと思う。/どのような事を指導していけばいいかという見通しを持つ事ができた。ただし、そのままでは難しいところは手を加えて実施した。/就職や進学に関する質問例や奨学金などについても書かれており一冊で説明できて助かる。/生徒が手を動かして、自分の頭で考えて記入するところ。/進路のことはもちろんだが、本校の生徒にあった欠課時数の自己管理や生徒指導関連について活用できた。

**【2年次担任】**

話をしたり作業したりしながら考えさせることができた。就職・進学それぞれについての流れや書類の書き方がまとまっているので、今後活用していきたい。/まとまっているので振り返りがしやすい。/具体的な内容になっており、使いやすかった。

**【3,4年次担任】**

様々な視点。(4年次も持たせたかった) /生徒に配付・説明するプリントなどが入っていて、一冊でいろいろなことができる。面接練習の問題なども多く便利だった。/進路の流れ、

日程の話など、校内で統一されているので良い。生徒のレベルに合っている。／本校生の実情をふまえた内容でかゆいところに手が届く。付録の充実。／進路指導で使いたい資料が一冊になっているのは思った以上に使いやすかった。／早期に先の見通しをつけさせたり、考えさせたりするきっかけにするのはとてもいいと思う。

**【担任以外】**

面接のことや履歴書のことがよくまとまっている。応募書類の見本がある。／見ようと思えば1年から卒業まで見通して、進路を考えることができる点。／細かな指導ができた。／ハンドブックの活用計画の一環として2年次にキャリアカウンセラーを講師とした学習があり、とても活発な活動になった。／本校生に合ったレベルで見やすく使いやすい。(2)

**4. 2でc, dと回答した方は、具体的な改善点を書いてください。**

(回答なし)

**5. 独自に使うように指示した回数は？(卒業年次の面接指導など)**

**a 0回      b 1～2回      c 3～5回      d 5回以上**

	a	b	c	d
定時制	8	9	5	6
通信制	14	7	0	0
計	22	16	5	6

**6. 5で「a」以外と回答した人は、どの内容が生徒の役に立ちましたか。**

面接指導時必ず目を通すように指示。面接の回答に対するアドバイス。／スマホの使い方、入学して不安に思っている学校生活の対応法。／面接の質問事項。(6)／生徒が具体的に活用できるページ。／面接練習で何度も繰り返し活用しました。／付録の出欠の自己管理(3)。※活用できる生徒が少なかったのは残念(1)／三者面談シート。(書いてくると面談がしやすかった)／生徒が自分で面接等の準備がしやすかった。／受験のスケジュール。面接の指導。(2)／付録が実践的で役に立った。／求人票の見方などが役に立った。／面接準備や礼状の書き方。／志望動機の書き方のコツ。／就職関係の書類や作成方法。／個別指導で必ずハンドブックを持参するだけですべてことが足りた。／面接指導で使用、ハンドブックという土台があると生徒に合わせ選んで指導ができるので便利だった。

7. 『K A J O ☆ハンドブック』を使うことで、生徒は自らの進路について具体的に考えることができるようになった感じますか。

- a 当てはまる                      b どちらかという当てはまる  
c どちらかという当てはまらない。      d 当てはまらない

	a	b	c	d
定時制	1 3	1 3	3	0
通信制	1	9	0	0
計	1 4	2 2	3	0

8. 改訂版にこういう内容がほしいという要望があれば、自由に書いてください。

【定時制】

ハンドブックの内容は素晴らしいものに仕上がっている。生徒には4年間使える教科書として紹介し、全体で進路ハンドブックの意義を高めてほしい。早期離職だけでなく5~10年で考えると高卒はもちろん大卒でも離職率は極めて高い。本校生徒を見ていて特に男子生徒は社会を生き抜くための指導があっても良いのではないだろうか。／特になし。とても丁寧な内容だと思う。／合格体験記などで情報の提供はしていますが、ハンドブックに過去数年の本校生の進学先・就職先が載っていてもいいのかなと思います。／生徒に持たせることを狙いとしているが、まだ預かっているクラスも見受けられる。／就職試験のための活用一つをとっても様々な活用ができるのですが、やはり説明や動機づけも必要だと感じるので、授業など一斉に指導する場面もあった方が良いのかなと思う。／本校の教育システムや生徒の状況に合わせて細やかな配慮のもと作成されており、内容の改訂以上に有効に活用する工夫をしていくことが大切だと思う。／進学を目指す場合、就職を目指す場合。それぞれの取り組みの骨格となるページを段階を追って示すなど、ガイダンス的なページがあるとわかりやすいと思う。

【通信制】

山形県は製造業県であることは、生徒にも意外と意識されていないのではないのでしょうか。「山形の企業を学ぼう」というページはとてもよいと思いますが、このページをもっと拡充して、製造業に対する思い込みを取り払い、発見のあるような内容が入ればと思う。／全体的に表現、説明が本校生徒にとっては難しいところがあるような気がする。小学5・6年程度でも読んでわかる様な表現にしてもらったらより良い。／一文を短くポイントのみ箇条書きにしても良いところもある気がする。

### (3) 成果と課題

本校に入学する生徒には、不登校で小中学校にほとんど通っていないという生徒も多く、経験値が驚くほど少ない。当たり前知っているだろうという先入観は危険である。そういう生徒に進路はこれからどうとでも選ぶことができる、どういう努力をすればそれが叶うのかを教え、意欲を持たせたいという視点で『KAJO☆進路ハンドブック』を編集した。1年次は本校に限ったことではなく、入学したばかりで先のことなど考えられないというのが普通である。実際にロングホームルームなどで活用してもそういう思いが伝わるとは考えにくい。説明の文章が長いという自覚はある。『進路ハンドブック』はアンケートにもあるように、簡素なワークシート的なものにしたかった。しかし、編集の目的でもある「生徒が知ろうと思えば自分で知ることができる」ためには、説明が過多になってしまうことがやむを得なかった。

これまでの進路指導では進路ノートは進路室に保管し、その時だけ取り組むという形だったので一過性になりがちだった。担任にしてみれば年次を追って指導するので多くを与えすぎないように配慮しているということもあるだろう。ただ本校の生徒は「早く知りたかった、知っていれば」と後悔しながら卒業していった生徒も多い。担任による温度差も否めないのも、説明を付加することとなった。難しいという場合は、アレンジ可能なようにデータをアップしているので、アンケートにもあったように担任の視点でアレンジしていただきたい。

この事業をきっかけとし、以前から思っていた本校生徒の進路指導に有効な「進路ノート」を作成したわけだが、これまでも他校で同じように独自の「進路ノート」を作成しながら、市販の「進路ノート」に切り替わると言うことも少なくないと聞く。『KAJO☆進路ハンドブック』は進路の目的もさることながら、この学校生活を有為に過ごしてほしいという思いも含まれている。これがベストでもないし、完成形でもない。今後、様々な内容を盛り込みながら霞城学園高校独自の変遷を遂げ、生徒にとって確かな一冊となるようになってほしいと考えている。